

## 謹賀新年

### ～今年も ‘じりつ’ の精神を大切に、自学自習力の育成を～

新しい年がやってきました。今年も元号も変わるということで、新しい時代の到来が感じられる年明けでした。世間では若い人たちの活躍が多く報道され、これからのみんなの活躍が期待されています。共にいい一年にしていましょ。

さて、昨年に実施した学校教育自己診断の分析が進んでいます。その中で「自ら進んで家庭学習を行う」といった内容に係る項目がとりわけ数値が低く、学校でも対策に苦心しています。全国の意識調査においても、大阪でも島本全体でも課題のある項目で、本校でも毎年担当の委員会で何度もいい方法を話し合ってきました。たんに宿題を多くするだけでは真に自ら学ぶ力を身につけるのとは質を異にすると考え、授業のありかたや長期休暇の宿題のありかたを工夫してきました。その上で、昨年度は「家庭学習強化週間」というものを設け、生徒の自覚を促すとともに家庭への発信も試みました。中学生になったら自分の興味のあることを自分でやるので不要だという声もありましたが、少しだけでも勉強が進んだという声もありました。

昨年度の意見も参考にしながら、今年度は2学期のテスト後に、やり方を変えて実施しました。今回は定期テストの結果を受けて自分をもっと力をつけたいと思う教科を一教科以上選び、その教科の学習プリントを自分で行ってチェックしてもらおう方法です。同一のプリントではなく、学力に応じたプリントを用意しました。5教科の課題が準備されていますので、やる気があれば5教科全て挑戦できるし、なかなか学習に向かえない場合はまず1教科をやり遂げることが達成感にもつながります。実施後に生徒にアンケートをとって見たところ、6割以上の生徒が、この取組で家庭学習の時間が増えたと答えました。ただ、どの学年にも30分以下の勉強しかしないという生徒が10～20%もいることもわかりました。中学生の家庭学習時間のめやすは、学年+1時間だとも言われています。つまり1年生なら2時間という計算です。もちろん長くやればいいというわけではありません。でも真剣に学習に取り組めば、それくらいの時間は必要だということなのです。

「自ら学ぶ姿勢」を身につけることは義務教育でとても大切なことの一つです。自分で課題を見つけてそれに取り組む、これは生きていく上で何事にも必要な力です。中には、(勉強以外の)好きなことはちゃんとやっている、という人もいるでしょう。でもそれだけでは、人間にとって必要な力を身につけているとは言わないのです。学校だけが勉強する場所ではありません。あらゆる場所で、その力を身につける努力をしてほしいと思います。

保護者のみなさま、特に家庭での学習はみなさまの力なくてはなかなか定着していくことが難しいと思っております。思春期のこどもは、なかなか大人の勉強への促しに素直に答ええないと思いますが、色々な場面で興味関心を促す声かけをいただき、また、宿題や長期休暇の課題などについては様子を聞いてもらうなど協力をお願いいたします。それらの積み重ねが、身近で言えば進路選択の一助となり、将来にわたる彼らの成長につながると確信しております。

最後になりましたが、本年も教職員一同よろしくお願いたします。

(校長 西田敦子)

平成30年度 1月・2月 行事予定(現在未確定のものがあります。また、変更になることがあります。)

		1月	PTA・地域	給食		2月	PTA・地域	給食
1	火	元旦(学校休業日)*****			1	金	新入生保護者説明会	○
2	水	(学校休業日)			2	土	*****	
3	木	(学校休業日)			3	日	*****	
4	金				4	月	①火5	○
5	土	*****			5	火		○
6	日	*****			6	水	(45分×6限) 生徒委員会→生徒代表者会	○
7	月				7	木		○
8	火	始業式・木1234		○	8	金	学級文庫返却	○
9	水	①火1・水1～5		○	9	土	*****	
10	木	朝読書なし 学級文庫選書 大阪府チャレンジテスト 1年:3教科・④⑤⑥木3～5 2年:5教科・⑥総合 3年 第3回実力テスト:5教科・⑥総合	学校協議会	○	10	日	*****	
11	金	朝読書スタート	PTA 運営委員会	○	11	月	*****	
12	土	*****			12	火	学級文庫選書	英検 学習会 ○
13	日	*****			13	水	クラブ停止(～21日)	テスト前 学習会 ○
14	月	成人の日*****			14	木		テスト前 学習会 ○
15	火	図書室開館	英検学習会・ 登下校指導	○	15	金		テスト前 学習会 ○
16	水	(45分×6限) 生徒委員会③→生徒会代表者会	英検学習会・ 登下校指導	○	16	土	*****	
17	木	(45分×7限) ①金3	英検学習会・ 登下校指導	○	17	日	*****	
18	金		登下校指導	○	18	月	(45分×6限)①木1	テスト前 学習会 ○
19	土	*****			19	火	(45分×6限)	テスト前 学習会 ○
20	日	*****			20	水	1, 2年 学年末考査	1・2年 なし
21	月	(45分×7限)①月3、⑥金4		○	21	木	1, 2年 学年末考査	1・2年 なし
22	火	(45分×7限)⑦金5		○	22	金	1, 2年 学年末考査	1・2年 なし
23	水	(45分×7限)⑥金6		○	23	土	*****	
24	木	3年 学年末考査 ⑥1,2年:月4	PTAハーバリ ウム教室	3年 なし	24	日	*****	
25	金	3年 学年末考査 私学出願 英検 (1, 2年:3～6限 45分授業)		3年 なし	25	月	①木2	○
26	土	*****			26	火	(45分×6限) 生徒委員会→生徒代表者会	○
27	日	*****			27	水		○
28	月	①火3、⑥火4		○	28	木	⑥水5	献立作成部会 ○
29	火	学校説明会	献立作成部会	○				
30	水			○				
31	木	木1～5 つなぎングスクール		○				

## 学校教育自己診断の結果から

「学校教育自己診断」の結果を受けて、校内の様々な委員会で分析を行い、課題と方策を検討しました。今後の教育活動に活かしてまいります。 (\*数字は肯定的回答の割合)

	生徒	(%)	保護者	(%)
1	学校へ行くことが楽しい。	77.4	子どもは、学校へ行くことを楽しみにしている。	84.8
2	先生は学習に興味や関心を持たせる指導をしている。	64.9	学校は学習に興味や関心を持たせる指導をしている。	59.4
3	コンピュータやプロジェクターを使った授業は、わかりやすい。	78.9	学校は、ICT機器(コンピュータやプロジェクター等)を使ったわかりやすい授業を行っている。	46.1
4	学校が出す学習の成績・評価について、納得できる。	70.8	学校は子どもの学力や学習状況に対する評価基準を適切に提示している。	71.1
5	家では、自ら進んで学習(宿題、予習・復習、自主学習など)している。	57.6	学校は、家庭学習の習慣がつくよう取組を行っている。	38.0
6	この学校では、朝読書など、読書活動に積極的に取り組んでいる。	66.0	学校では、読書活動に積極的に取り組んでいる。	63.4
7	授業や様々な学校での活動の中で、自分の生き方について考える機会がある。	71.1	学校は、学年に応じてそれぞれの生き方(卒業後の進路を含む)について考えられるようなキャリア教育を行っている。	53.9
8	この学校では、人権の大切さや社会のルールについて道徳の授業などで学ぶ機会がある。	83.8	学校では、中学生として守るべきルール・マナーや人権の大切さについて適切に指導してくれる。	72.4
9	学校は、いじめ防止や早期発見の取組を進めている。	53.5	学校は、いじめ防止や早期発見の取組を推進している。	50.6
10	授業や学校行事、部活動に保護者や地域の方がよく協力してくれている。	69.7	学校は、保護者や地域の人たちに授業を公開したり、つながりを深める機会を多く設けたりしている。	79.6
11	学校では、「食」の大切さについて、考える機会がある。	61.0	学校では、「食育」についての取組を推進している。	54.6

**生活について**・・・多くが学校を楽しみにしている一方、否定的な割合も一定数あることは注視したい。各委員会や生徒会活動などを通して達成感が実感できる生徒主体の自立・自律を促す取組を追究するとともに、個別にもていねいに向き合う指導を充実させる。またいじめの取組について上記以外に「わからない」と回答した生徒が約20%、保護者で約25%にもなっている。学校では、いじめ防止に係る取組を実施していることから、それらの趣旨やねらいをていねいに伝えて、より実生活に結びつけられるよう努めたい。

**学習について**・・・学校は授業改善の取組を進めているが、生徒・保護者の受け止めはまだ十分ではない。ICTを活用している授業は、生徒には肯定的な受け止めが多いことから、わかりやすい授業づくりの一助として今後もICTを活用した授業を充実させていきたい。家庭学習については一面に記したとおりであり、家庭の協力が不可欠なことから、家庭と連携できる継続的な取組を計画し、実施していく。食育については教科指導とも関連させた学習を増やしていきたい。

## 防災教育(いきふれ教育事業「防災教室」、全校「地震避難及び集団下校訓練」)

11月30日に1年生を対象に、島本町消防本部、島本町総務部危機管理室の協力を得て「防災教室」を実施しました。また、12月5日には、地震発生に伴う避難訓練と地域別集団下校の訓練を全校で行いました。特に、地域別集団下校訓練は本校では初の試みで、昨年の気象災害時に、緊急で集団下校を行ったことを受け、よりスムーズな人員点呼と安全な下校体制を確認することを目的に実施しました。毎日過ごしている安全・安心な環境は当たり前のもではなく、自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。特に昨年は、大阪北部地震や台風21号を目の当たりにし、災害に対しての備えがいかに大切か実感したことでしょう。これら訓練で、生徒は自身の災害体験を振りかえりながら、さらに防災意識を高めたことと思います。引き続き、学校安全に向けた取組を計画的に行っていきます。



## 「自分を大切にしよう」～SOSの出し方に関する授業～

私たちは、日々様々なストレスを感じています。適度な緊張はプラスになりますが、負荷がかかりすぎると自信をなくし自己否定につながってしまいます。今回はストレス対応だけでなく、自分だけでは解決できない悩みにどう対応するか考える授業を全学年で行いました。

心や体の調子がおかしい時は、一人で悩まないで周囲に発信することが大切です。友だちに話しても行き詰まっていると感じたときには、信頼できる大人にそのことを話していくことが、自分を大切にすることになることを学びました。

## 生徒会活動 ～Burn it up 鳥二魂～

12月7日に後期生徒総会を開催し、「生徒一人ひとりが生徒会員であることを意識して、全員が個性を活かし、輝ける学校にする。」という活動方針を承認しました。後期の具体的な活動としては、「あいさつ運動」や「いじめ防止活動」(学級委員とのコラボレーション企画)、「つなギングすくーる」(小中連携活動)などです。各委員会も新体制のもと、いよいよ後期のスタート。一人ひとりが二中をつくる担い手として輝いてくれることを期待します。



町内一斉清掃(12/1)

## 「おめでとう」～様々な分野での活躍～

- ・中学生人権作文コンテスト島本地区奨励賞(12/17) 2年:真杉 明依
- ・島本町教育委員会表彰(12/21)(陸上競技近畿大会3位の実績に対し) 1年:中村 美裕
- ・男子バスケットボール部 冬季チャレンジカップ(12/16) 準優勝、同大会優秀選手 2年:向 太陽
- ・サッカー部 茨木三島地区前期北摂リーグ2部A大会(12/21) 優勝
- ・バドミントン部 茨木三島地区ダブルス大会(12/23)  
A部門準優勝(河野・福田ペア)、B部門第3位(藤川・松村ペア)

## お知らせ

校舎1階の事務室付近に設置している公衆電話は、平成30年度末で撤去されることとなりました。生徒のみなさんは、忘れ物などさらに注意をするようにしましょう。